

# THE SPECIALIST

ザ・スペシャリスト

FILE No: 003

## 中林尚夫 専務

Hisao Nakabayashi

### グランパスで ひとつになる幸せ



二〇一五年、「愛されたいクラブ宣言」を掲げた名古屋グランパスは今年から、ホームタウンのすべての人に「グランパスでひとつになる幸せ」をミッションに立ち上げた。事業部長の中林尚夫専務にグランパスからのメッセージを聞いた。

二〇一四年一月、四年間勤められた韓国トヨタ社長から名古屋グランパス顧問に就任され、取締役を経て一五年四月から代表取締役専務に就かれました。

中林 着任して、観客動員数、売上高、クラブイメージなど様々なデータを見るとクラブが閉塞感に包まれているのを感じましたし、なんとかそれを打破したいと思いました。

クラブにはこれまで掲げてきた活動理念がありました。どこか形骸化している部分がありました。そこで、あらためて名古屋グランパスの存在意義は何なのか見つめなおしました。その結果、今年から掲げたのが「名古屋グランパスはホームタウン全ての人々に『グランパスでひとつになる幸せ』を提供する」というミッション

ンです。

スタジアムに向かう道中のドキドキ感、スタンドでしか味わえない一体感、負けた時の悔しさ、勝った瞬間の爆発的な喜び、知らない人と思わず抱き合ってしまう、こうした感動を「グランパス」を通してみなさまに体験していただきたい。そんな思いが、このミッションに込められています。

そして、そのミッションのもと私たちは五つのビジョンを掲げました。

それが①感動のマッチデーエクスペリエンスを提供する②聖地を創り出す③誰もが顧客になると認識する④タッチポイントを圧倒的に拡大する⑤クラブと関わる全てのみなさまと実現する——です。

今年五月四日の対マリノス戦で豊田スタジアム（以下・豊スタ）